

# 総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成28年度)

## 2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ①グリーン・イノベーション分野(9/9)

	評価区分(※)	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
			目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
栃木発再生可能エネルギービジネスモデル創造特区 (栃木県)	正	2.2	1.5  進捗度 ・農業用水を活用した小水力発電事業による発電総出力、年間電力量 0%  ・小水力発電施設の製造、設置やメンテナンスに関わる県内企業の売上増加額 0%  ・小水力発電事業の推進 22%	2.8  地域独自の取組 ・流水占用料の減免検討  ・再生可能エネルギー関連分野における研究開発の推進 等	2.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部要因による制約が生じていることはわかるが、それも含めて事業を前に進めるための取組を行う必要があり、適当であると認めるには不十分である。</li> <li>特定水力発電事業に向けての水利権協議等、計画認定当初は意欲的な活動が見られたものの、具体的な事業検討に向けて真剣な取り組みを期待したい。</li> <li>5年間で発電施設の整備が1件も無いことは、電力会社による系統連携制約だけが原因とは考えにくく、当初の事業検討段階において検討不足の点があったのではないかと危惧される。</li> <li>発電効率や維持管理に大きな影響を及ぼすと考えられている水路のごみ対策について、除塵設備の改良、製品化にどの程度見通しが立っているのか、取り組みの進捗や方向性に不明な点が残る。</li> </ul>

※「正」とは平成28年3月末までに計画が認定された地区の評価、「準」とは平成28年3月末時点では計画が認定されていない地区の評価を意味する。